

令和3年地域運動部活動推進事業における成果報告書【水戸市】

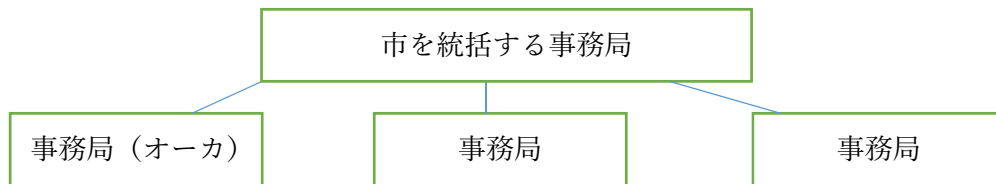
1 関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制づくりについて

- 地域運動部活動推進事業モデル校（双葉台中学校）の拡大

事務局となる運営団体（オーカスポーツマネジメント）が1つの学校の部活動の地域移行を目指す型は、運営団体が出納管理や学校との連絡調整及び生徒、保護者の保険加入など運営事務を行い、学校との連携がスムーズにできた。双葉台中学校の生徒は、休日の部活動に全員加入した。

事務局が、生徒・保護者アンケートは Google フォームで、生徒・保護者との連絡も電子化したことで、事業の後半に伴い業務の軽減となった。

課題としては、活動の中止時間の変更、けがの対応を考えると、事務局の負担が大きくなり、この形を拡大するためには、事務局を統括する団体等がないと難しいとの課題が出た。



- 部活動指導員等の活用

部活動指導員は、専門的指導ができ、教員の業務負担の軽減に有効であるため、令和2年度は12名であったが、令和3年度は、拡大を目指し、27名となった。その中で、休日に指導を行っている指導員が22名、市内弓道部を設置している学校が3校でどの学校でも部活動指導員がいることから、各種スポーツ協会を事務局とすることができるか検討している。

- プロスポーツクラブ等との連携

茨城ロボッツ、水戸ホーリーホックとそれぞれ話合いをもった。水戸ホーリーホックの担当より、ある月（例えば11月）の休日を部活動は休みにして、その月にサッカースクールを開催することで、参加したい生徒は、技術力アップやモチベーションの向上につながり、教員は休むことや指導することを選択できるとの提案をいただいた。1つの形となるかもしれないので、検討中である。プロスポーツクラブにおいても、指導者の派遣となると、新たな指導者の雇用や活動場所の確保が難しいとの話もいただいたところである。

2 拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進する支援について

- モデル校の活動を開始するに当たり、8つの運動部活動のうち、5つの部活動が対象となった。「なぜ、この部活動なのか」「なぜ、この部活動だけが受益者負担なのか」について、保護者の理解を得るために、学校と運営団体が丁寧に幾度も保護者会を重ねることによって理解を得てスタートすることができた。その際、県や市の担当者も参加することによって、拠点校でスムーズに実施することができた。今後は、県作成のチラシや市の今後の方向性を市内の教員、生徒・保護者、地域に広く広めることで

さらに理解を得る必要がある。

3 それぞれの課題克服の仕方について

- 指導者や運営団体の確保

モデル校の指導者については、運営団体が粘り強く各指導者に交渉することによって確保に至った。今後、市内に拡大するための指導者の確保については、各種スポーツ協会、市関係課と連携をしているが、確保が難しい現状である。

モデル校の運営団体については、オーカスポーツクラブ代表が、部活動指導員の派遣について来所した際に地域運動部活動推進事業が話題となり、代表の好意により今回はモデル事業の運営団体として事務局を引受けてくれた。しかし、運営団体を担う団体の確保は難しい課題である。

- 保護者・自治体の費用負担の在り方の整理

地域スポーツ活動の費用負担については、保護者アンケート等から、専門的指導と詳細な説明があれば、保護者の理解を得られることがわかった。

自治体の費用負担については、市内全域に広がる見通しが立たないと検討が難しい。

4 改革の取組をどう他地域に普及していくかについて

- 本事業を拡大していくためには、受益者負担の理解を得ること、グットモデルとして広く認められることで、普及していく可能性がある。拡大すれば人材の雇用にもなり、期待がかかる。しかしながら、保護者の理解や学校単位での拡大はまだ課題が多い。
- 兼職・兼業の許可を得た教員の謝金は、指導者が 2、500 円/時間に対して、1、600 円/時間とした。平日の指導を行う教員ということで安心感はあるが、報酬額や会費負担の理解については、進んでいない。また、異動等で兼職・兼業となる教員の定数確保が見通せない状況をどうするのかは課題である。

5 実践研究における活動実績や得られたデータについて

- 教員の勤務時間（別紙 1）

地域スポーツ活動へ移行した部活動の顧問をする教員は、休日に部活動指導を行う教員と比べ、時間外勤務時間が学校行事等で準備が必要な時期を除き、大きく減少している。兼職・兼業の教員も事業が進むにつれて、減少している。

- モデル校（双葉台中学校）の活動時間について（別紙 2）

指導者については、運営団体の代表が各種スポーツ協会等に声をかけ、4名と契約した。あと1名の指導者は、指導を希望する教員（兼職・兼業）。新型コロナウイルス感染症の影響で活動できない日もあったが、市内大会を勝ち上がり、地区大会に進出するなど、活躍できた部活動もあった（男子卓球部、男子バスケットボール）。また、生徒等の要望から地区大会で指導する地域部活動指導者もいた。

- 生徒・保護者のアンケート（別紙 3）、学校の成果と課題（別紙 4）
- 検討・運営会議から（別紙 5）

(別紙1) 教員の勤務時間 (双葉台中学校)

例

	月別
時間外勤務時間	42 h 45m (18h)
兼業・兼職時間	12h

勤務時間外に行われた部活動従事時間

部活動の時間 15:35～季節による終了時刻まで			
4月	17:05	11～1月	16:05
5～9月	17:35	2月	16:35
10月	16:35	3月	16:55

			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地域 部 活 動	阿南教諭 サッカー部	時間外勤務時間	97.47(12.0)	66.00(10.0)	41.25(7.0)	3.31(0)	19.5(0.4)	46.1(0)	39.1(0)	35.3(0)
		兼業・兼職時間	17h	17h	11h	3h	0h	14h	5h	14h
	男子ソフトテニス部	時間外勤務時間	59.2	67.16	44.47	2.29	16.6	38.3	42	25.4
	剣道部		89.21	79.07	56.24	1.52	23.5	65.4	64.2	50.2
	男子バスケットボール部		57.43	72.52	70.07	1.09	22.4	57.4	56.3	46
	男子卓球部		53.34	61.05	45.45	3.16	21.6	44.5	32.6	24.1
	時間外勤務時間平均値			71.33	69.16	51.496	2.27	20.7	50.34	46.84

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
通常の部活動 (5つ)								
時間外勤務時間平均値	79.72	87.4	67.81	12.44	33.57	61.95	52.71	41.67

(別紙2) モデル校(双葉台中学校)の活動時間について

2021年度12月までの実績						
サッカー部	年間合計時間数	79.5	時間/132時間	年間残時間数	52.5	時間
ソフトテニス部	年間合計時間数	95.5	時間/132時間	年間残時間数	36.5	時間
バスケ部	年間合計時間数	80	時間/132時間	年間残時間数	52	時間
剣道部	年間合計時間数	83.3	時間/132時間	年間残時間数	48.7	時間
卓球部	年間合計時間数	71	時間/132時間	年間残時間数	61	時間

令和3年度
双葉台中学校 地域部活動

第一回
保護者アンケート回答結果

2021.6.30
NPO法人オーカスポーツマネジメント

【目的】

地域部活動が始まって1～2カ月の
取り組み初期において理解度や満足度、懸念点などを、
参加される生徒とその保護者様とでアンケートを分け、
リアルなお声をいただくことで
地域部活動の在り方、サービスの向上につなげる

【実施期間】

2021年6月22日～6月30日

【対象】

双葉台中学校の地域部活動に参加する生徒（サッカー部除く※） およびその保護者（サッカー部含む）

※サッカー部は顧問の先生が兼職兼業の為

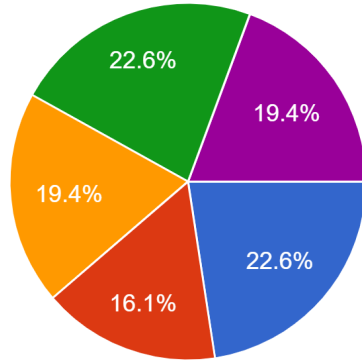
【実施方法】

生徒 → 顧問の先生から配られるアンケート用紙に記入するか、
Googleフォームにて匿名で回答

保護者 → Googleフォームにて匿名で回答

お子様の所属部活をお答えください

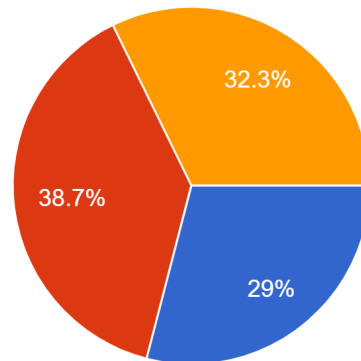
62件の回答



- サッカー部
- バスケットボール部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 剣道部

お子様の学年をお答えください

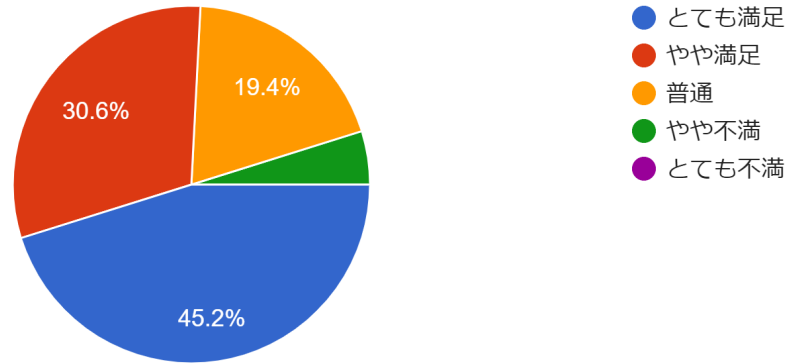
62件の回答



- 1年生
- 2年生
- 3年生

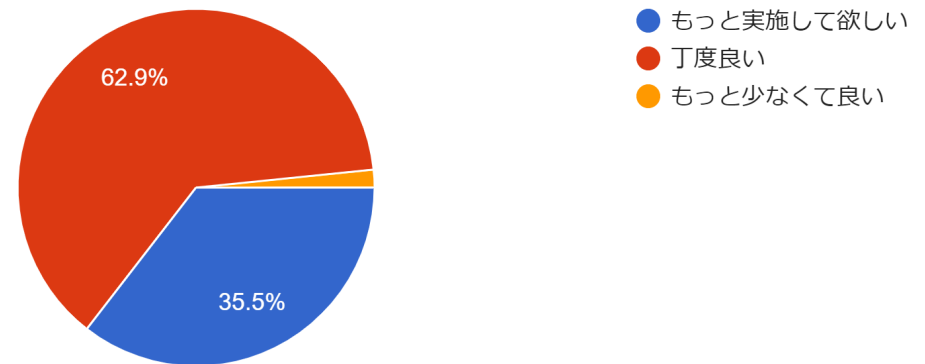
Q 1、地域部活動の取り組みについて

62件の回答



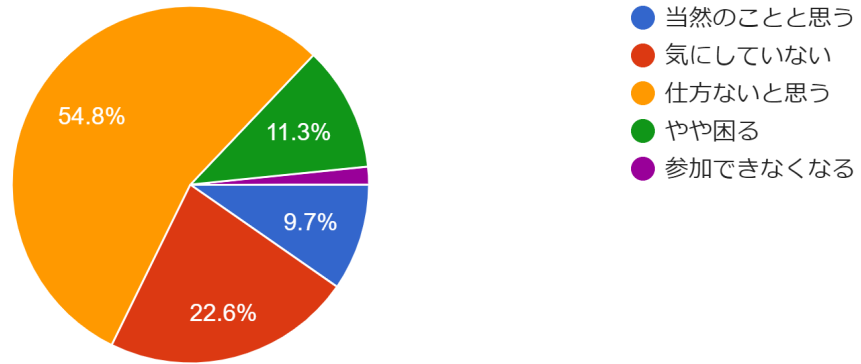
Q 2、週の指導・練習頻度について

62件の回答



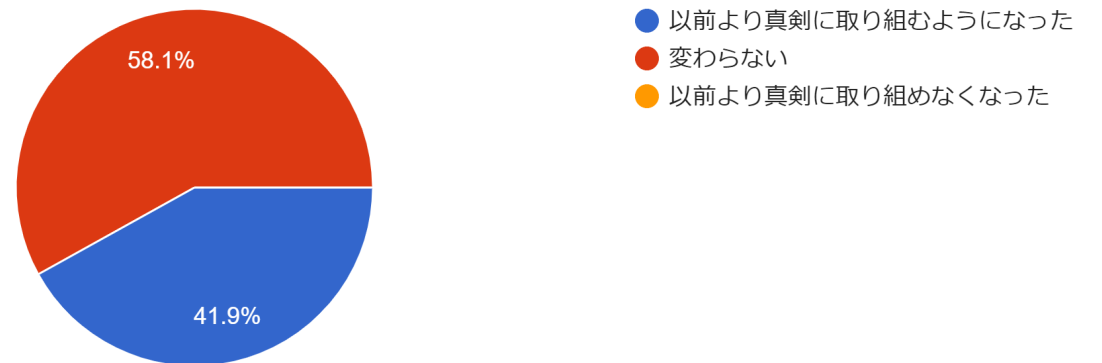
Q3、来年度以降で専門の講師が来る代わりに月謝が発生することについて

62件の回答



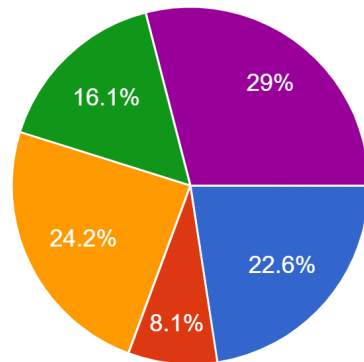
Q4、お子様が部活動への取り組む姿勢

62件の回答



Q5、事務局の役割として期待することについて

62件の回答



- 講師の技術の向上
- 専門家による講習会
- 緊急時の連絡体制
- 相談窓口
- 特にない

Q6、地域部活動に対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

20件の回答

- ・まだよく分かりませんが、期待したいです
- ・月謝を各家庭が負担するは疑問
- ・技術指導して頂けるので、良いと思います。
- ・月謝を取るのであればより専門的な指導をお願いしたい。
成長期にある子供たちの栄養バランス等も親も含めて指導して欲しい。
部活動だとどうしても学校行事の範疇というイメージなので例えば練習後のサプリメントやプロテイン接種などをさせづらい。
- ・専門知識を持った指導者の方に指導していただけることは子供達にとってもいい経験になると思う。
個人競技のある部活については部員数によって指導者の人数を増やすなどしてもらえるといいと思う。
部活動のグループラインやメール等があると急なお休みなどの時に連絡しやすいと思う。
- ・Q3は金額が分からないので答えられないです
- ・こういった活動がある事自体知りませんでした。
コロナでしようがないとは思いますが、もう少し周知活動をお願いします。
- ・総体の時指示を出せる人がいなくて不公平を感じた。土日は他校と練習試合などに当てて欲しい。
- ・毎週は来られていないようなので、今のところあまり意味を感じていない。
今後月謝が発生するなら尚更そのようでは困る。
中学は平日に大会が開催されるため、そこは来ていただけるようにしてほしい。
専門のコーチがベンチにいて子供たちの安心感は違う。

Q6、地域部活動に対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

20件の回答

- ・ 専門講師と学校側とが十分に連携しながら、子ども達の部活動への意欲を高められるよう、これからもさまざまな工夫をしていって欲しい。
- ・ 走ったり、筋トレなどの基礎練習も増やしてほしい。
- ・ 子供達の為に、ご指導して頂きありがとうございます。
- ・ 三年生なので、指導を受けれる期間が短かったので、残念に思いました
- ・ 専門の講師の方にご指導を受けれて有り難く思います。もっと早くにご指導されていたらもっと上達したのかもしれないです。
- ・ 経験のある方の指導を受けることができるので、とても良い取り組みだと思います。
- ・ 小関先生に教えて欲しいと言っています。
- ・ 再度、地域部活動を見学したいです。
- ・ 週1回の指導では少なすぎると感じます。
月謝が発生するのは致し方ないとは思いますが、それであればもう少し回数を増やすべきであると思います。
学校の顧問の先生が未経験である場合は土日のどちらかだけではなく練習試合や大会などの付き添いもやって頂きたいです。
- ・ 先生だけではやはり大変なので、よい取り組みだと思います。

Q7、国の令和5年度から休日の部活動を地域に移行するということについて、ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

19件の回答

- ・コロナ禍もあり、部活動の制限などがあり技術の向上が難しいかもしれませんが、頑張っで欲しいです
- ・教師の負担軽減になるのなら良いと思う。
- ・先生方の負担を減らす為に良いと思います。
- ・3年前くらいから部活動のあり方が変わってきたと思います。先生方の無償労働に頼る状態で改善は必ずしないと行けないと思います。ただそのタイムラグにある状態が長すぎると思います。出来ればと早急に移行をお願いします。
- ・学校、保護者との連携をきちんとしてほしい。
月謝が発生するのは困ります。
国などが負担して欲しい。
- ・月謝が発生する事によって参加出来る生徒・出来ない生徒等バラつきが出て部員内での技術の差など出ないかや、保護者への連絡等をしっかりとして頂けるのかが心配。
- ・先生方の休日の為、しょうがないと思います。やるのであれば、活動を増やして欲しいです。
どうしても部活動ですと、クラブチームに劣るイメージがあります。
- ・専門のコーチであれば、結果にも期待したくなりますので、よろしくお願いします。
- ・今までどうり学校主体の方が良い、部活の責任もあいまい。
- ・毎週来ていただいて、教えていただけるのであればいいことだとは思う。
ただ、中学の部活動において月謝が発生するとなると抵抗を感じる保護者は少なくないと思う。

Q7、国の令和5年度から休日の部活動を地域に移行するということについて、ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

19件の回答

- ・教員の働き方改革には必要なことだと理解いたします。ただし新しい取組みには十分な理解と協力が不可欠です。そのためにも、モデル校としての今後の取組みを通して、地域部活動のメリット・デメリットを十分に検証するとともに、子ども達や保護者にもそのことを共に考え共有できるようにしていただきながら、十分な理解の下でスムーズな移行ができるよう取組んでいただきたいと思います。
- ・時代と共に、部活動のやり方も変わって行くのは仕方ないと思います。
- ・お支払いが発生することは当然だと思いますが、外部指導になることを知ったのがギリギリでしたので、移行するのであれば、学校側が保護者に早い段階で伝える必要があると感じました
- ・これからは地域の専門の講師の方にご指導いただける生徒達は有り難いと思います。早めに取り組んでくれたら良かったのになぁと思います。
- ・国からの要請であれば、月謝が発生するのには、疑問があります。義務教育の一環としても部活動であれば、月謝というのには納得できません。部費として備品等を購入するのなら、わかるのですが・・
- ・外部講師の指導は良いと思います。
- ・賛成です
- ・学校の顧問の先生ときちんと連携をとってもらえる状態が必須だと思います
- ・地域で指導者を確保できるのか、地域差がでてしまわないかがシンパイ。

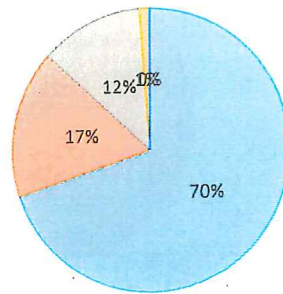
【生徒対象】令和3年度 双葉台中学校 第1回地域部活動アンケート

Q1、講師の指導技術、知識について

1	58
2	14
3	10
4	1
5	0

合計 83

グラフタイトル



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

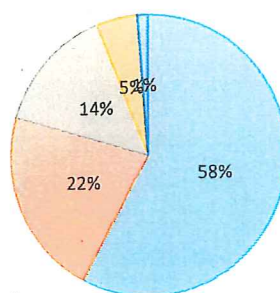
1 とても満足、2 やや満足、3 普通、4 やや不満、5 とても不満

Q2、指導内容、練習プログラムについて

1	48
2	18
3	12
4	4
5	1

合計 83

グラフタイトル



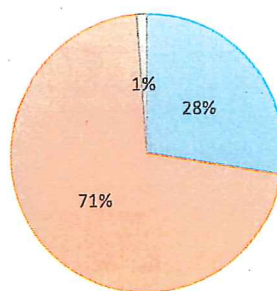
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

1 とても満足、2 やや満足、3 普通、4 やや不満、5 とても不満

Q3、週の指導・練習頻度について

1	23
2	59
3	1

グラフタイトル



■ 1 ■ 2 ■ 3

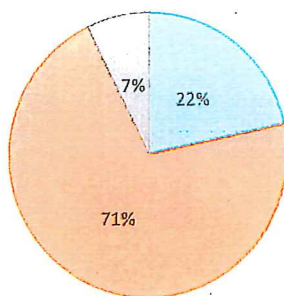
1 もっと実施して欲しい、2 丁度良い、3 もっと少なくて良い

Q4、自身の種目の技術は上達したかどうか

1	18
2	59
3	6

83

グラフタイトル



■ 1 ■ 2 ■ 3

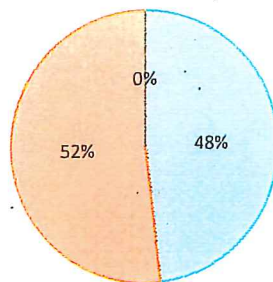
1 以前より格段に上達したと思う、2 以前と比べて少しは上達したと思う、3 以前と比べて上達していない

Q5、部活動に行くことが楽しいかどうか

1	40
2	43
3	0

83

グラフタイトル



■ 1 ■ 2 ■ 3

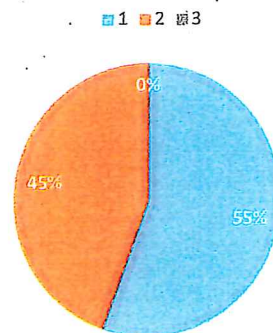
1 以前より部活に行くのが楽しくなった、2 変わらない、3 以前より部活に行くのが楽しくなくなった

Q6、部活動にやりがいを感じるかどうか

1	46
2	37
3	0

83

グラフタイトル



■ 1 ■ 2 ■ 3

1 以前よりやりがいを感じている、2 変わらない、3 以前よりやりがいを感じなくなった

Q7、地域部活動に対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

・もっと厳しくしていい。

・サーブレシーブ

・日曜日も実施してほしい。

・日曜日も実施してほしい

令和3年12月15日
水戸市立双葉台中学校長

第2回地域運動部活動に係る検討・運営会議資料

※ 導入8か月を経て感じる「成果」と「課題」

<成果>

1 教師にとって

- 休日の部活動指導における、希望の有無について「選択肢」が与えられた
 - ・反響は少なからず大きい（現職はもちろん、これから教職を目指す者にも）
- 働き方改革の推進（11月時間外勤務時間平均45.3時間、80時間以上0人）
 - ・生み出された時間を授業準備等にシフト（研修の充実と授業力向上）
 - ・本人のやりがいや負担感に応じた指導体制の構築
（複数顧問制の徹底、部活動指導選択者に対する「トコロテン方式」による全職員での支援体制の構築）

2 生徒にとって

- 自分やチームの技能等に応じて専門的な指導・助言を受けられるようになった
- 指導員と顧問の指導体制の連携により生徒の平日の部活動参加がより主体的になった

3 保護者にとって

- 教員の働き方改革の説明の場を設けられた
 - ・該当部活動代表保護者会（1学期）
 - ・全部活動代表保護者会（2学期）
 - ・1・2年各学年保護者会の実施（2学期）
働き方改革を進める理由（学校長より）
地域部活動の実施状況について、保護者・生徒の意識調査について（教頭より）
（講師紹介、生徒・保護者アンケート結果の提示）
県の取り組みについて（保健体育課より）
（指定校となるよさについて）

<課題>

1 人材の確保

- ・現役教師、大学生、退職者等についての人材バンク等の作成・運用・管理を

2 保護者の負担軽減

- ・教員に支払われている「特殊業務手当」の指導料への運用を可にするなど予算措置を
- ・要保護・重要保護家庭等の経済的支援体制の確立を

3 「枠組み」の整備

- ・練習参加枠の見直しを（1校のみではなく複数校合同やブロックによる運営等）
- ・試合参加枠の見直しを（全国大会・関東大会・県大会・地方大会・市内大会等）
- ・文化部参加についても運動部と「一体的な」改革を

4 移行行程の明示

- ・県や市として令和5年度まで、およびそれ以降の行程の明示を

5 保護者の理解促進（勝利至上主義・成果主義に陥らない説明・理解を）

(別紙5) 検討・運営会議から

令和3年度第1回地域運動部活動推進事業に係る検討・運営会議開催

R3.7.2

現状報告

<事務局から>

○ 地域部活動推進事業について

- ・文科省
- ・モデル校：双葉台中学校，事務局：オーカススポーツマネジメント
5つの部活動で実施，サッカー部は兼職兼業
- ・課題：保護者の費用負担，地域人材の確保，部活動を希望する教員の動向

<運営団体（オーカススポーツマネジメント）から>

- 子供の未来をいい変化に 学校の先生の負担
- 週に1回（土か日）に活動，試合・遠征への帯同等
- アンケートの報告（6月30日実施）（別紙3）

【生徒（サッカー部以外）】

- ・9割弱の生徒が満足
- ・指導内容について：講師の指導歴の差があるのではないか
- ・活動の頻度（週1）について：ちょうどいい7割→課題
- ・上達について：以前よりは上達した9割以上
- ・土日に課題→平日に練習
- ・以前より部活が楽しいか：5割弱→ますます
- ・やりがいを感じているか→上向きの数字になっている

【保護者（サッカー部含む）53% 62名の回答（Google forms）】

- ・満足度：とても満足が一番多い。満足，やや満足が75%，やや不満の方の御意見を聞きたい
- ・練習頻度：ちょうどいいが65%→もっとやってほしいという回答が増えるように頑張りたい
- ・月謝：当然1割弱，気にしていない，仕方ないがほとんど，やや困る1割弱
- ・運営上の費用を踏まえて，保護者がどのくらいなら出せるのか
- ・以前より真剣か：疲れて休んでいた生徒が積極的に活動する場面があった
事務局へ期待等：選択肢が決まっていたので…特にないが一番多かった（課題の自由記述から）
- ・講師へのアプローチ，研修会（講習会）の企画（生徒，顧問，講師）
- ・月謝を負担するのは疑問，活動事態を知らなかった，指導を受ける期間が短いのは残念，活動の回数を増やしてほしい，大会に参加してほしい等
- ・大会の参加について
- ・活動についての周知，月謝

<双葉台中学校の取組から>

- ・たったの1か月で成果が出たのはすごいこと。
- ・校長が生徒に面談を実施：毎日の練習が変わった。
- ・保護者への理解と周知：月謝の問題，部活動保護者会が実施できなかった（コロナの影響），Q&Aを作成して配布したが，なかなか周知に至らない，先生の勤務が劇的に変わるわけではない→心配で一緒にいるのが現

状、みんなでできれば。

塚田指導主事

- ・実践研究の実施ありがとうございます。
- ・県としてもスピード感をもって進めて欲しい。
- ・つくば市3校実施+2校
検討・運営会議を開催して、平日の部活動を1日減らしましょうという話も
でした。

<質疑応答及び協議>

大塚校長

- ・中体連としてはこの流れや動きはどうなのか、クラブチームに入っている生徒、競技人口の少ない競技について
- ・休日にやらないという選択はあるのか

角谷校長

- ・やりたくない生徒もいる、選択可でもよいのでは。
- ・保護家庭の土日の練習ができないのは阻止したい

塚田指導主事

- ・地域部活動は学校から切り離すこと

薄井PTA会長

- ・一人一人に対して月謝、部活動での月謝にはならないのか。

塚田指導主事

- ・指導者への謝金、契約、単体のクラブと契約して、やり方は地域によって様々。出せる上限はどのくらいでしょうか。

薄井PTA会長

- ・家庭によって違うから難しい、月1,000円も厳しい家庭もあると思う。
- ・令和5年度から切り離すという通知があればよい。
- ・地域移行は、できるかできないかだとできると思うが、移動手段が課題となる。運営においてお金はいただかないといけない、学校以外に行くことになればお金を払う、外部の専門家に習うということにお金を払う理解は得られるのでは。

川原井校長

- ・中体連とは別に考えて進めてほしい、平日に子供を返して地域に教えてもらうのは大歓迎、塾に行く感覚でないと、単独で学校としては全部の部活動をまかなうのは大変だと思う、市として各施設を使うことも有効ではないか。

藤田課長補佐（スポーツ課柏課長代理）

- ・費用負担の問題はあるが、よい取組だと思う。指導員の確保については課題だと思う。スポーツ課の指導者の登録もなかなか出てこないなので、どう確保していくのかは課題だろう。

(別紙5) 検討・運営会議から

令和3年度第2回地域運動部活動推進事業に係る検討・運営会議開催

R3.12.15

<オーカスポーツマネジメントから>

- ・指導者の選定，学校との協議・調整，保護者への説明，生徒の登録管理，連絡体制，環境構成，メール配信の設定，備品の発注，月間のスケジュールの管理けが等の対応，マニュアル，指導者からの報告，報酬，県への報告，指導者への研修，運営をするための機材，指導者の確保に時間がかかった，受益者負担のための保護者対応：今は学校の延長のためほぼないが…

<協議「令和4年度からの部活動の地域移行について」>

オーカ（檜山）

- ・指導者の確保のためだが，1人の交渉に6時間かけてもだめな場合があった。
- ・予算がないからやらないというわけではないが，現実的ではない部分もあると感じる。

塚田指導主事

- ・行政主導型として，教育委員会が事務局，指導者の派遣の例もある。つくば市では，つくばFCが事務局，検討・運営会議は，市内校長が委員となっている。今後は，つくば市のスポーツ協会，スポーツ振興課が連携してやろうという流れもでてきた。

柏スポーツ課長

- ・スポーツ課が関わる指導者については3つの団体がある。
スポーツ推進委員 34の小学校区に3名，102名 地域スポーツに従事。
企画立案 7：3（男：女） 平均年齢60歳ちょっと
年額4万円
- ・スポーツ指導員 陸上，バスケ等 62名 任期2年
10回，市民からの派遣要請，専門を指導することができるが，休日部活動の事務的なことを頼むことは難しい。
- ・スポーツ少年団指導者 26種目 309名 4年 無報酬
専門を指導することができる，土日の活動が多いため，自分の指導と部活動が重複する可能性がある。
- ・スポーツ課として，人材の紹介をすることはできる。
- ・水戸市のスポーツ協会に頼むことは無理だろう。
- ・関係する部署と地域部活動について話し合いはしていない。→今後していくことはできる。
- ・オーカさんに指導者を紹介することはできる。

會澤指導主事

- ・茨城ロボッツ：学校への指導者の派遣は雇用しないと難しい，平日も指導しないと指導者としての生計は難しい。受益者負担の理解も課題。
- ・茨城ロボッツ，水戸ホーリーホックとも話し合いを実施した。先ほども話したが，選手やスタッフはバスケットはできるが，あとは事務方なので，指導者の派遣は，人を雇用するしかないとのこと。

遠藤様

- ・指導者の派遣については，水泳は土日だけでみると正直難しい。スポーツクラブに来てくれるのであれば見ることはできる。フィットネスはセルフ利用なので，スタッフの派遣は検討できる。競技歴・指導歴はあるので，指導できる分野は確認する必要がある。

薄井会長

- ・受益者負担についての保護者反応
いつからどこの部活がやるのか，明確なものと安心できる。お金については，ある程度はしょうがないが，家庭によっては払える，払えないがあると思う。予算，保険について明確な説明が必要。
地域運動部活動の指導者に指導を受けている子供たちは喜んでいる，成績が上がっている部活もある。
水戸市一律でやってくれるのかも保護者は気になるところ。

塚田指導主事

- ・パンフレットを作成（2月を目途に）（教員向け，保護者向け，生徒向け誤解がないように，部活は地域に移行していきますよというパンフレットになる予定）
地域の実態もある，環境を整えることが大切。

角谷校長

- ・やりたい子がいれば他の学校できるとよい。指導者を派遣する形がよい。
- ・平日の指導者に休日お金を払うということに抵抗はあり，理解を得る必要あり。

川原井校長

- ・中体連の来年度の大会の在り方は変わらないと思う。
全国大会，関東大会，県大会はやる。考えていくかもしれないけど，今は切り離して考えた方がよいのでは。クラブチームが参加できるようにしましょうという流れにはなっている。休日の練習しているチームが参加できるようになると思うが，学校のチームは，そのまま大会にでたいと考える生徒・保護者・教員もいることと思う。

會澤指導主事

- ・部活動指導員 27 名

人材確保には苦勞しているが、成果は多くある。

檜山さん

- ・他校に参加ではなく、双葉台中に来る生徒はいないのか。
周知をして、反響を見てもよいのではないか。

塚田指導主事

- ・1つの学校にたくさん来ても構わない。国の理想である。

檜山さん

- ・拡大の仕方について、双葉台中の指導者の確保はスポーツ協会にも依頼した。
- ・他校からの生徒の参加について
モデルを作れば説明がしやすい。
指導者の報酬については、利用者の人数に応じて報酬を変えることで納得
いただいたケースがある。
- ・人数が増えたときには、指導者を増やすことは可能。

薄井会長

- ・野球、サッカー・・・グラウンドがいっぱいになってしまうのでは
この学校では野球、この学校ではサッカーというように、地域のモデルを
考えてはどうか。合同部活動で。(人数の試算が必要になる。)

矢口副参事

- ・課題検討事項として、指導者の確保、受益者負担の理解、スケジュール等
ある。

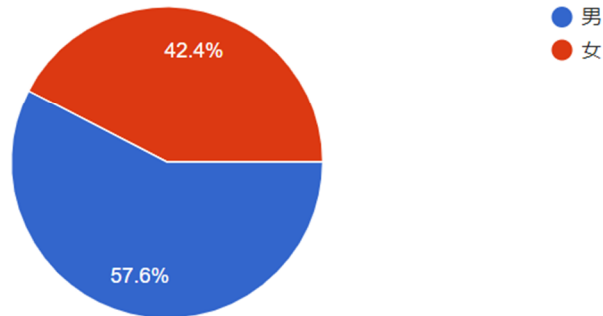
部活動に関するアンケート

総合教育研究所 教育研究課

令和3年11月26日（金）～12月7日（火）

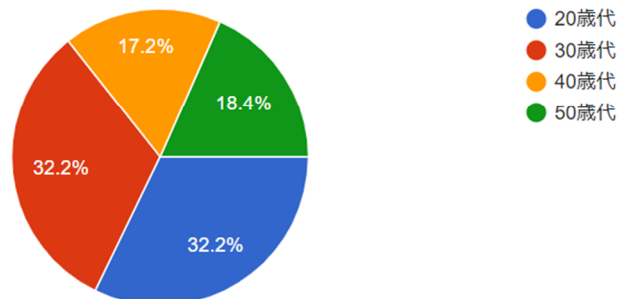
性別を教えてください。

264 件の回答



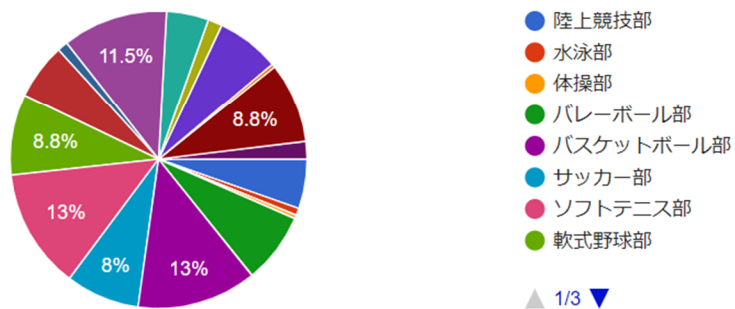
年代を教えてください。

261 件の回答



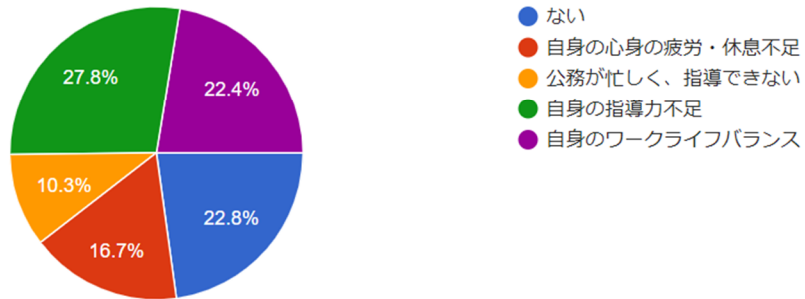
顧問をしている部活動を教えてください。

261 件の回答



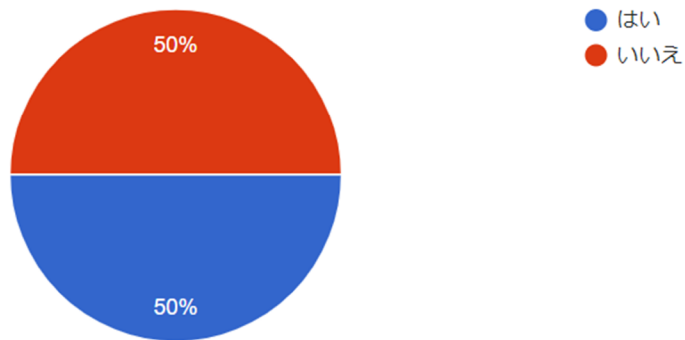
部活動の指導で悩みはありますか。

263 件の回答



顧問をしている部活の競技経験はありますか。

264 件の回答



休日の部活動が地域に移行した場合、あなたは指導者となりますか

264 件の回答

